
所 属 : 国際学部

職・氏名 : 教授 井上 泰浩

研究キーワード : マスメディア、インターネット、情報通信、原爆神話と情報操作

■研究テーマ

① テーマ : Web2.0、SNS 時代の情報利用の変化

概要 : 世界中の情報の共有、発信、検索を可能にした Web2.0 と SNS 時代における、人々の情報利用と行動は人類史上最も大きな変化をしています。SNS と人々の行動、ネット時代のジャーナリズムと既存のマスメディア（新聞、テレビ）の方向性、また、読者視聴者のマスメディア利用変化を研究しています。特に、ネットやスマートテレビによるテレビ視聴行動の変化は、2012 年に調査を行いました。

② テーマ : 海外における広島原爆の報道と市民理解、情報操作

概要 : 原爆容認・正当化論の起因の根拠の一つとして、海外における原爆報道を分析し、その国民に伝えられている原爆解釈、理解を国際比較検証しています。特に、アメリカを代表する新聞である *The New York Times* の原爆報道については、1945 年から現在までの時系列的な内容分析を進めています。*The New York Times* による情報操作でどのように原爆が正当化（原爆神話）されたかを実証的に検証しています。

■研究テーマの応用例

テーマ① 市民の情報利用と行動の変化を先取りする形で商品開発やサービスを提供しようという企業や団体にとり、市民を対象にした Web2.0、SNS 研究は有益であります。

テーマ② 平和意識を広める活動に応用できます。

■主な著書、発表論文

井上泰浩 (2017) 『世界を変えたアメリカ大統領演説』講談社。

井上泰浩 (2004) 『メディア・リテラシー 媒体と情報の構造学』日本評論社。

INOUE, Yasuhiro. (2003). *Cyber Election Campaigning: U.S. Presidential Election 2000*. Hiroshima, Japan: Keisuisha.

Carol Rinnert, Omar Farouk & Yasuhiro Inoue (Eds.). (2010). *Hiroshima & Peace*. Hiroshima, Japan: Keisuisha.

■主な特許、芸術作品等

■想定される連携先

①についてはマスメディア、IT 業界、また、SNS を導入したい企業。

②については、行政、教育機関など。